

2005年7月12日 ユニフェム日本国内委員会

常任理事会提出 総務 国際担当

ニュース 発表

速報

日時：2005年7月8日

連絡先: Leigh Pasqual, Media Specialist
+1212-906-5463, leigh.pasqual@undp.org

スペインはジェンダー平等の推進に向けた公約を更新 (renew) する

ユニフェムとスペイン政府との協力協定についての署名

マドリード----- ユニフェムは、今日スペイン政府との間で、国際協力を強化する協定に署名した。その国際協力とは、ミレニアム開発目標 (MDGs) を達成するために、いっそうのジェンダー平等を促進し、女性差別を取り除こうというものである。

スペインが最近発表した、2005年から2008年までの、自国の協力に関する基本計画は、以下のようなものである。そこでは、ミレニアム宣言にいうビジョン実現のための政府公約について述べられていて、今後4年間に援助と国際協力の推進を優先的に図るとしている。この基本計画では、スペインの海外開発援助を2006年にはGDPの0.24%から0.33%まで増やすと約束している。

「スペインの開発協力の主な目的は、その質と量と一貫性を強化しつつ、貧困の撲滅と人権擁護、さらに男女の機会平等を保証することである。」「またユニフェムのパートナーとして協力することで、より公正で平等な世界を実現するように、これらの目標に向けて努力している。」

と国際協力の長官である Leire Pajin Iraola 氏は語った。

ノエリン・ハイザーユニフェム事務局長は、そのパートナーシップを歓迎するとし以下のよう
に述べた：

「スペインは、男女平等の推進と、貧困との戦いで地球規模のリーダーシップを取ってきた。
2005 年 9 月の世界サミットに向け、この協定の署名がスペイン政府のジェンダー平等強化と
いう公約の証となるばかりでなく、他のミレニアム開発目標を達成するための証ともなる。ス
ペインがパートナーであることを、ユニフェムは誇りに思う」と。

(西村洋子 訳)